

## 疑似科学 Pseudo Science

### 疑似科学

### 疑似科学の特徴

なぜ疑似科学をあばくのか？

姓名判断検証

ハチソン効果

### 結論

「超科学」をきる

- 真の科学とニセの科学をわけるもの -

テレンス・ハインズ著、井山弘幸訳、化学同人

PART II - 臨死体験から信仰療法まで -

## 疑似科学(Pseudo Science)

### 疑似科学

- 科学ではないのだが、科学であると称している学説や信念体系(予言、占い、超能力、バイオリズム、UFO、心霊術、等々)

## 疑似科学の特徴

- 反証不可能性  
「私は神である」「創造伝説」
- 検証への消極的態度  
「月面に誰が住んでいる」
- 立証責任の転嫁  
UFO、サンタクロース、妖精、超越瞑想
- 自説は絶対・不動  
「衝突する宇宙」

## UFO?



## 妖精？



図1 ユニバーシティ・ブリティッシュ・コロンビアの妖精の写真

## なぜ擬似科学をあばくのか？

- それは事実かもしれない。  
「催眠術」、「隕石」、「鍼灸術」
- 真偽を広報する責務がある。  
「仏像」、「心霊手術」、「栄養食品」、「UV化粧品」
- 心理学的な問題を解明する必要がある。  
「認知的錯覚」、「知覚の解釈的性格」
- 無批判に受け入れる態度は危険である。  
「魔女裁判」、「人種理論」、「戦争」

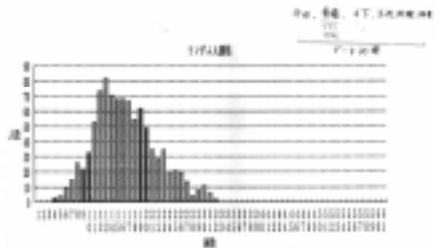
## 「認知的錯覚」



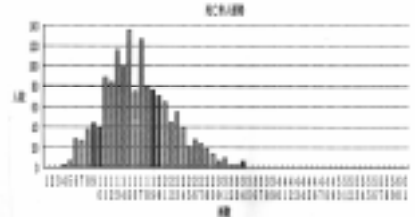
## 「知覚の解釈的性格」



## 姓名判断検証 1



## 姓名判断検証 2



## ハチソン効果

番組タイトル : 『X51 . ファイル』  
放送媒体 : GyaO (インターネット放送)  
放送帯 : 15分番組毎週更新 毎月4本  
放送日 : 第一回放送予定12月6日(水)  
番組形式 : オール海外ロケ形式  
番組内容 : 現代の謎に迫るドキュメントバラエティー

<http://x51.org/x/06/06/2135.php>

## 反重力物体浮遊現象 ハチソン効果

- **ハチソン効果について**
  - ジョン・ハチソンが偶然に見つけたハチソン効果は、物体の浮上現象、破壊現象、物体融合現象、気象コントロール現象、テレポテーション現象、透明化現象など、現代の物理学では説明できない現象が発生し、その一部がビデオテープに収められている。
- **偶然発見したハチソン効果**
  - 1979年、ジョン・ハチソンはカナダのバンクーバにあった、彼の研究所で、**テスラ・コイル**、**ヴァンデグラフ発電機**などの装置を起動させているときに、金属片が飛び上がる現象を発見した。それ以外に、破壊現象、物体融合現象、気象コントロール現象、テレポテーション現象、透明化現象なども発生した。
  - ハチソンの行った奇妙な実験は、**テスラ・コイル**をはじめとする様々な電子コイル類、そして**ヴァンデグラフ発電機**と呼ばれる**独自開発の機械**を用いていたが、その詳細は明らかではない。また、一体いかなる物理学的現象によってそれら現象が引き起こされたのかさえも定かではないが、ハチソン自身によれば、「**一種の現象は、電磁波(スカリー波)がヴァンデグラフ発電機に作用し、零次元エネルギーに書き加わる**ことによって、**物体の浮遊といった物理現象が引き起こされている**」ものと推測しているという。

## 反重力物体浮遊現象 下村効果？

- 2006年11月30日(木)撮影DVD？
- 高速で回転するゆで卵はジャンプする



<http://web.hc.keio.ac.jp/~yutaka/>

## 結論

- Ladies and Gentlemen **Be Skeptical.**
- cf.  
William Smith Clark : Boys Be Ambitious.